

広報 たかのす

平成2年

2月1日

№.665

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111
FAX 0186(63)2586



「どう? カッコいいでしょう!」 にぎやかスキー教室

鷹巣中学校のスキー教室が1月22日から薬師山スキー場で始まり、初日は3年生で大にぎわい。受験を控えているだけに、今シーズン始めてスキーをはく生徒が大半でしたが、町スキークラブ員の指導のもと、メキメキ上達。生徒たちは先生の心配をよそに、白銀のスロープにあざやかなシュプールを描いていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

12月31日現在	(前月比)
総人口	24,218人 (1人増)
男	11,754人 (8人減)
女	12,464人 (9人増)
(出生	16人 転入 34人)
死亡	17人 転出 32人)
世帯数	7,309世帯(6世帯減)

早期実現に町民一丸！



地元の期待で会場は満員の状態

「名刺の枚数が決め手」

「町民一丸となり県北空港の早期実現を目指す」と一月十六日に、広域交流センターで「県北空港建設促進鷹巣地区協議会」の設立総会が行われ、同協議会の発会を決めるとともに今後、陳情や署名、募金活動など幅広く、きめ細かな運動を展開することになりました。いま県北空港は正念場を迎えており、町民一人ひとりの協力が不可欠となっています。

設立総会には、町内の商業関係者や部落会長など三百八十人が出席し、是が非でも空港を！との熱気が伝わる会となりました。始めに準備会を代表して出川町長が「これまで行政主導であったが、

地方空港は地域の真剣な取り組みが必要であり、実現に向けた運動に是非とも協力願いたい」とあいさつを述べました。また、県企画調整部の山崎交通政策課長が「県北空港の現状について」をテーマに報告し、この中で「最終的な閣議決定は、平成三年秋になると思うが、それまでに三回のヤマ場がある。署名運動や陳情など、地元の名刺の数が事を決する」と言っても過言でない」と、より積極的な運動の展開を訴えました。

続いて議事に入り、「空港建設早期実現のため、町内における官民一体となった諸活動の展開を図る」ことを目的とした規約案を、原案どおり承認して同協議会が発足し、役員を選出しました。

事業としては▽空港建設実現に向けての関係機関に対する陳情、署名、募金、PR等の諸活動 ▽地域住民への啓



吹雪の中で街頭署名が行われ、1,300人以上が協力＝1月7日＝

蒙活動 ▽その他目的達成に必要なと思われる事業となっております。

今年度の事業としては、第六次空港整備五カ年計画の組み入れをねらいに、三万五千人の署名運動、百二十万円（特別五十万円、一般七十万円）を目標とした募金活動を展開することを決めました。役員は次のとおりです。

（任期は二年）

- ▽会長＝藤島直治（商工会会長）
- ▽副会長＝畠山慎之進（沢口農協組合長）
- 中嶋喜代（婦人団体連絡協議会長）
- 高坂祐司（商工会副会長）
- ▽理事＝清水修智（議会空港特別委員長）
- 河田正二郎（中央協力会長）
- 佐藤福治（老人クラブ連合会

長 津谷栄七（建設業協会会長）

小塚嘉七（土地改良区理事 会長）

千葉文吉（地区労働協議会議長）

佐藤嘉美（沢口地区会長）

福田精一（鷹巣町農協組合長）

成田ミネ（農協鷹巣地区婦人部長）

高泉愛（婦人学級連絡協議会長）

木村博（鷹阿青年会議所理事 長）

工藤敏明（連合青年会長）

篠原康夫（株グリーンメント ジャパン工場長）

小塚弘子（若妻連絡協議会長）

▽監事＝藤島直一（森林組合長）

奈良幸恵（更生保護婦人会長）

▽顧問＝出川禮一（町長）

今川清太郎（町議会議長）

成田純次（県議会議員）

津谷永光（同）

4月1日

「協同の心はひとつ」

「新たなかのす農協」が誕生

綴子、七日市、栄の三農協合併に関する臨時総会が一月十日に一せいに開催され、いずれも「平成二年四月一日」を合併期日とする予備契約書や、地域農業の振興などを基本とした経営計画書等を可決し、「新たなかのす農協」が誕生しました。

合併の大詰を迎えた十日は朝からミゾレ混りの肌寒い天気でしたが、組合員の関心は高く、臨時総会が始まる午後一時半には各会場とも「新しい時代を作ろう」とするムー

農業協同組合合併予備契約調印式



立合人である出川町長をはさんで三農協の組合長が固い握手をかわした=昨年12月25日の予備契約調印式=

ドで熱気につつまれました。昭和六十三年八月以来、六農協の合併を前提とした促進協議会は、諸般の理由から三農協が脱会し、最終的に綴子、七日市、栄の三農協で進められてきました。農協は、戦後の食糧難などまさに日本の激動期に発足し、以来、四十年余りにわたり農家の営農と生活向上に寄与してきました。しかし、時代の流れとともに農業、農村をめぐる状況はきわめて厳しい状況に直面しており、これを打開するには組織の強化、拡大が急務とされてきました。新たなかのす農協は正組合員数一、四一三戸、組合員数一、七五六人、職員数七三人、貯金残高六十九億七千四百万円（平成元年三月三十一日現在）を有し、厳しい情勢に立ち向い事業管理費の節減、諸施設の有効活用など経営基盤の拡大、強化をはかりながら、組合員の付託に応えるものです。四月一日を契機に、新たなかのす農協は共存共栄、相互扶助を柱に、組合員の「幸せづくり」を最大の目標として、力強く大海原にこぎ出すことになりました。

■1日(月) 鷹巣郵便局配達出発式。恒例の出発式は年賀状の元旦配達のため、高校生のアルバイトを含め局職員総動員で、朝八時半、新年を迎えた街に元氣よく出発した。この日、第九回元旦マラソンが役場前出発で行われ、小・中・高校生を中心に、親子連れから壮年にいたるまで、男女一斉に威勢よく白銀の街路に展開された。



町長日誌
出川 禮
1月1日~15日

て、式辞を述べた。
■5日(金) 商工婦人部主催による新春交流会に出席しあいさつを述べた。
■6日(土) 建設技能組合の総会に出席した。また、オリックス球団の中嶋聡選手が組織され、会長を受諾した。四年目の今年こそ真価を問われるもので、絶ゆまざる精進と謙虚さを保ち、郷土のため健闘を希いながら

■2日(火) 栄地区新春祝賀会に出席した。
■3日(水) 竜森地区新春清談会に出席した。
■4日(木) この日より官公庁関係の仕事始めである。町の交通指導隊の観閲式には交通事故の絶滅を要請し、町職員には、公僕として公平忠実な執務を訴えた。また、恒例の消防出初式にはふだんの努力に感謝し、あわせて消防精神の昂揚と使命感の充実を要請し

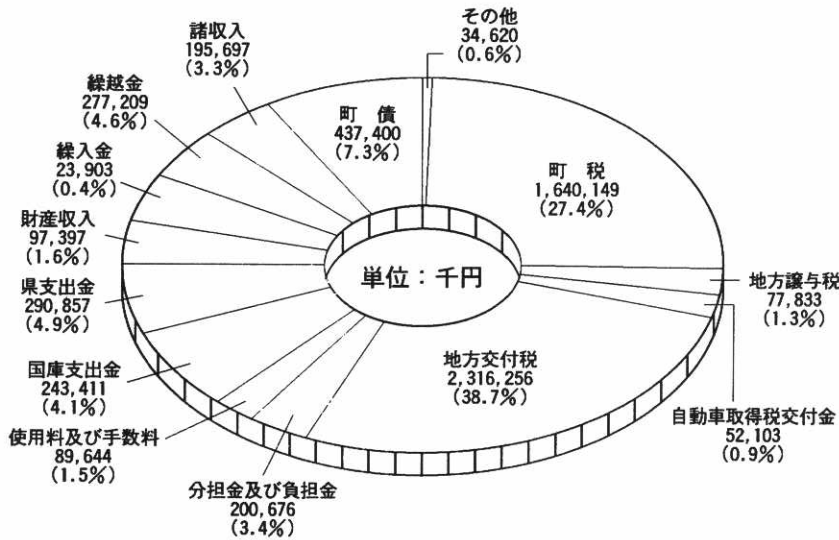
ら祝辞を述べた。
■7日(日) 県北空港の街頭署名。今日より地元としての理解と盛りあがりを図るため、町の目抜き通り二カ所で県北空港設置促進の運輸大臣宛の街頭署名を始めた。時おり吹雪混りの寒い一日であったが、多くの町民の協力があり、一連の運動のスタートをきった。
■11日(木) 秋田市で県町村会正副会長会議があり出席した。

昭和63年度決算報告

創意工夫し町づくりを推進

一般会計3億7百30万2千円繰越し

一般会計歳入 59億7千7百15万5千円



昭和六十三年年度一般会計及び特別会計の決算は、九月定例町議会で決算特別委員会に付託。同委員会で慎重審議を重ねてまいりましたが、いずれの会計も原案どおり認定となりました。一般会計や各種特別会計は、みなさんから納付いただいた町税や地方交付税、国、県の支出金でまかなわれていますが、いずれも適正かつ効率的に執行されています。会計のあらましは次のとおりです。

＝負担状況＝



1人当たり

町民税 30,692円
固定資産税 29,261円



人口 24,251人
世帯 7,246世帯
(平成元年3月31日現在)

町民税 102,722円
固定資産税 97,930円

たばこ消費税
1人当たり
4,168円

＝徴収状況＝

(単位 千円)

区分	調定額	決算額	収入率
町民税	747,392	744,321	99.6
固定資産税	739,591	709,603	95.9
軽自動車税	18,633	18,523	99.4
たばこ消費税	101,088	101,088	100.0
電気税	61,850	61,850	100.0
木材取引税	4,764	4,764	100.0
計	1,673,318	1,640,149	98.0

町費の使いみちは

一般会計歳出 56億6千9百85万3千円

1人当たり 233,799円

1世帯当たり 782,480円

議会費 100,353千円
(4,138円)



議会活動費など

総務費 910,030千円
(37,525円)



戸籍住民基本台帳、財産管理費など

民生費 598,830千円
(24,693円)



身障者、老人福祉、児童福祉など

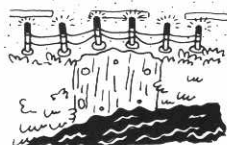
衛生費 335,811千円
(13,847円)



各種検診、ゴミ処理費など

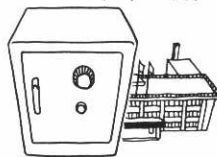
()内は町民1人当たり

災害復旧費 111,444千円
(4,595円)



河川、道路、農業施設の災害復旧

公債費 620,284千円
(25,578円)



町が借りたお金の元金と利息

諸支出金 178,424千円
(7,357円)



土地や立木の取得費

土木費 872,243千円
(35,967円)



道路の新設改良、補修など

消防費 272,037千円
(11,218円)



消防、水防費など

教育費 887,944千円
(36,615円)



学校の施設、社会教育、体育など

労働費 39,312千円
(1,621円)



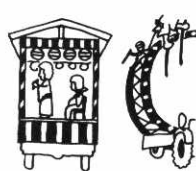
出稼ぎ対策など

農林水産業費 387,572千円
(15,982円)



農業、林業など

商工費 355,569千円
(14,662円)

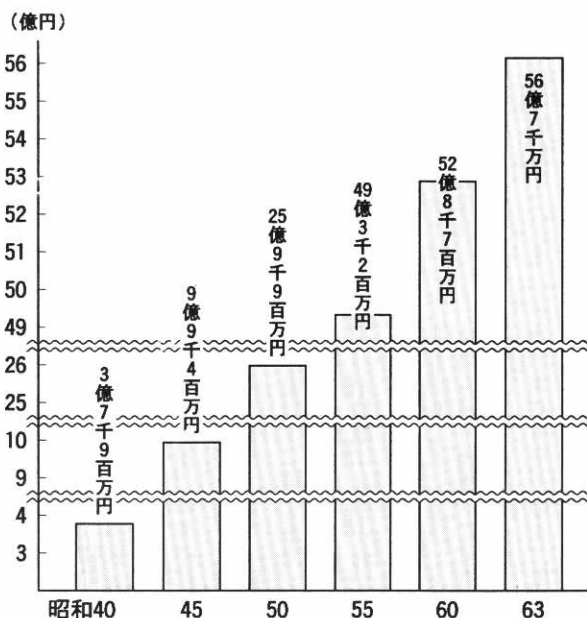


商工、観光、温泉など

会計別決算総括表 (単位 千円)

区分	歳入	歳出	残額
一般会計	5,977,155	5,669,853	307,302
国保会計	1,509,409	1,403,711	105,698
老人保健	1,321,777	1,330,987	△9,210
簡易水道	276,888	270,340	6,548
と畜場	27,311	26,760	551
土地取得	22,866	22,865	1
宅地開発	21,938	21,887	51
綴子財産区	8,681	647	8,034
坊沢財産区	53,680	940	52,740
栄財産区	40,612	1,107	39,505
七日市財産区	39,156	20,786	18,370
合計	9,299,473	8,769,883	529,590

一般会計決算額の推移(歳出)



アメリカ西海岸農業視察報告

鷹巣町農業委員長(团长)

三 沢 勇 悦



田牧農場で説明を受ける視察団

農業委員会の農業視察団(一行二十一人)が、昨年十一月二十日から十一月七日まで、世界をリードし農業大国でもあるアメリカを見聞してきました。

「農産物自由化」を叫ぶおじさまとだけに、想像をはるかに越える広く豊かな国土から生産される農産物の種類、数量にはア然とせざるを得ませんでした。しかも、徹底した低コスト化など規模こそちがえ今後の日本農業に、多くの教訓を与えているようでした。

なにもかもケタはずれのスケール

一 農家当たり 一七〇ヘクタール

一行を乗せたバスが首都圏に入ったのは、十二月一日早朝であった。

これから日本を発つ興奮もあり、みんなの寝起きは早く師走の都心に流れるトラックとビルの狭間に、いま明けんとする東京の空は初冬の澄ん

だ空気も手伝い、想像を絶するすばらしさで、一行の前途を祝ってくれているように感じられた。

予定より少し遅れ成田を離陸したが、上空には雲ひとつなく実に穏やかで、箱庭のようには遠ざかる日本列島を後にしながら、一路ロスアンゼルスを目指し約九時間のフライトとなった。

飛行状態が良く、二十五分

早く到着したが税関が二十五分経過するまで取り合ってくれず、先を争って行列をつくる日本とは異質であった。

今回の視察は、アメリカ五〇州のうちカリフォルニア州にしほり、コースはサンフランシスコ―フレズノ―ロスアンゼルスである。ロスアンゼルスから飛行機を乗りかえた一行は、一時間あまりでサンフランシスコに到着。

ここはポストンと並んで最も文化的な都市と言われるだけあって、「世界一美しい吊り橋」金門橋や、ツインピークスの丘などを見学した。また、一カ月程前にマグネチュード六・九の地震に襲われ心配されたが、見た限りでは橋脚の代用として立っている六〇センチ程の角材が、かすかに大地震の名残りをとどめていた。

カリフォルニア州の面積は日本の一・二倍であり、その三分の一にあたる一、三三三万の耕地は日本の約三倍という。かんがい施設が十七年前に完成したことで、その生産高も一一六億ドルと飛躍的に伸び、二五〇品目の農産物はアメリカ全土の十二％の生産額である。

主要作物のトウモロコシ、

小麦などの刈取りが終わった後であり、黄金の収穫色の面影はなかったが、農家一戸当りの耕地面積は一七〇〇と日本の平均一〇〇とは比較にならない

アメリカはウマイものをつくれぬ

丸二日間走り続けても、はてしなく続く海原のような豊かな耕地は、想像を絶するものであった。

目的地のひとつ「田牧農場」

(田牧一郎氏・福島県郡山市出身)を研修。田牧農場は稲作八〇、トマト八〇、野菜種子(スイカ、キュウリ、メロン等)一〇、小麦一〇を作付けしているとのこと。田牧さんは、そのほか

い。一戸当りの生産額も約一、五〇〇万円、日本の十五倍で農用地の売買価格は水田十坪当たり十万円弱ということである。

に精米業者として八、〇〇〇トカントリーを建設し、今年は四、〇〇〇トを収容したとのことであった。

アメリカは刈取りのため、生産者は耕起から飛行機を利用した肥料、種子、除草剤、農薬散布などすべて賃料で経営しており、自らは水管理だけの作業という徹底した合理化に深く感心しながら、大型コンバインで刈り取りを終え

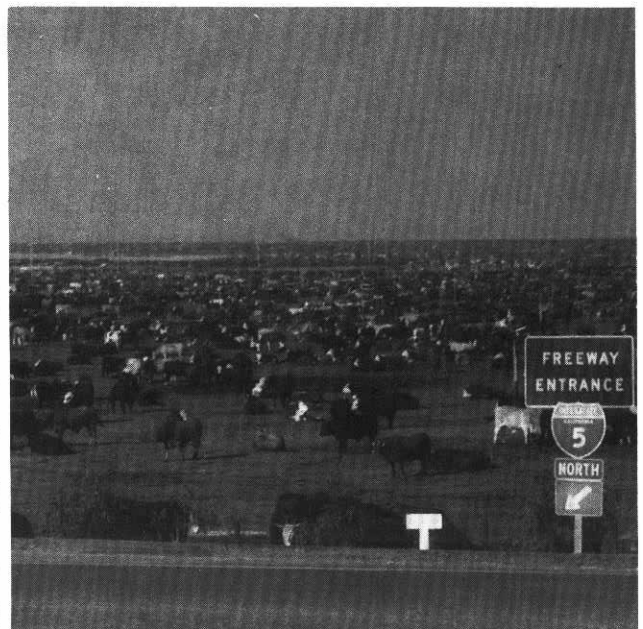
ワラが散在している圃場を後にした。

田牧さんは「アメリカでは、安くてまずい米作りはできるが、日本人好みの良質米の生産はできない。米の市場開放に日本の農家は、異常なほど神経をいらだたせているが、あまり心配しなくてもいいのではないか」と述べたことが印象的であった。

また、カリフォルニア州最大のハリス牧場は、全米第二位の規模を誇り飼育している肉牛は十萬頭におよぶ。面積は約二三〇で、体重別にグループ分けされた牛の平均飼育期間は、一〇日から一二〇日とのことである。

アメリカ人の肉の消費量は九五キログラムであるが、ここ数年牛肉の消費量が落ちてきているという。理由は、健康食嗜好によるものと共働きの家庭が増え、料理に時間がかかり過ぎることからインスタント食品に押されていることなどである。

滞在の最終日はロスアンゼルスである。車の多さにはビックリさせられたが、車検制度がないためドアがつぶれたままや、バンパーを木材で修理した車も見られた。



10万頭の肉牛が飼育されているハリス牧場

低コストに徹した農業経営

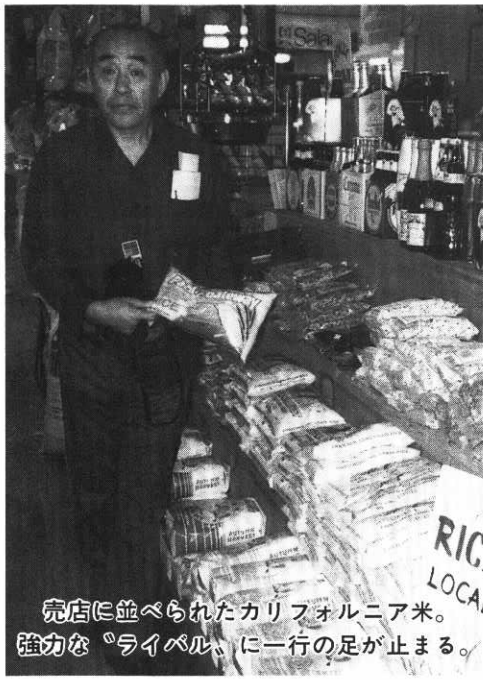
アメリカ農業の視察研修は、新聞報道などで見聞しているカリフォルニア農業に直接足を踏み入れ、現実の姿を接見したことに大きな意義もあり成果もあった。国内からだけ

見ているものと、現実とは大きな隔りがあり未知のことも沢山あった。

アメリカの広大な土地で農業を営むのと、狭い国土で営

む日本の農業とは、経営形態も自然環境もおのずと異なり、画一化することは不可能であるが、企業感覚的経営から生ずる低コスト生産に、精神的に取り組んでいるアメリカ農業は、生産コストの高い日本農業に多くの教訓を示しているように思える。

十萬頭肥育農場や大規模圃場など、二カ所の現地を研修しアメリカ農業の実態をかいま見て、我が国の農業そして鷹巣町の農業のあり方など、沢山の課題を背負った研修になったように思う。



売店に並べられたカリフォルニア米。強力なライバル、に一行の足が止まる。

衆議院議員選挙

投票日は2月18日です

「あなたの一票を国政にいかそう」

第三十九回衆議院議員総選挙が、二月十八日に実施されることになりました。選挙は私たちの暮らしを守り、明るい社会を築くための大切なものです。あなたの一票で、国の政治を担う代表者を選びましょう。

印した投票用紙の人

▽平成元年十一月二日以前から、引き続き当町に居住している人で、住民基本台帳に登録されている人。

▽昭和四十五年二月十九日以前に生まれた人。

なお、当町に十一月三日以降に転入された人は、前の住所地在り登録地となりますので、投票日に前の住所地で投票するが、不在者投票をしてください。

午前七時からの投票開始

投票日は、午前七時から午後六時まで町内二十五カ所で投票が行われますが、次の投票所で閉鎖時間が繰りあげられますので注意してください。
▽午後五時まで＝明利又、竜森、坊山、岩谷、葛黒、緑ヶ丘、田子ヶ沢、黒沢の八投票区です。

投票用紙の色は

投票は、衆議院議員と最高裁判所裁判官国民審査が行われ、投票用紙の色は、衆議院

選が白茶色の用紙に黒刷り、国民審査は、あさぎ色の用紙に赤刷りとなっています。

不在者投票は早めに

投票日に仕事や用事のため投票に行けない人は、不在者投票を行うことができます。不在者投票は、投票日前日の十七日まで土曜・日曜日を問わず、午前八時三十分から午後五時までです。

投票入場券は

届きましたか

町選挙管理委員会では、今回の選挙の入場券を一月三十一日までに郵送しました。もし配布もれがありましたら、選挙管理委員会に問い合わせください。

選挙事務局は

選挙管理委員会事務局は、役場二階です。電話は六二二一一一内線二九一、臨時電話六二二四五九一ですので、ご利用ください。

『明るい選挙をめざして』



『明るい選挙推進連』という見出しを目にして、なにをいままさら、わかっていきます、という人がいます。

でも、そのわかっているはずの選挙、よい国をつくりよい政治を築くための投票であるはずなのに、不正な選挙、選挙違反などいつの選挙にもそのたびに問題になる事実があります。

三、ない運動（贈らない）（求めない）（受けとらない）を、いま一度この運動の中心を確かめあい、法律によって禁止されている行為には、どんなものがあるかをハッキリ知ることが大切だと思います。そして、一人ひとりが「自分のまわりを良くしよう」という気持ちで選挙意識を高めていくことが明るい選挙推進となっていくのではないのでしょうか。それぞれの人が、住んでい

る地域社会の一員としての自覚を持ち、正しく清潔な一票を投じていたら「明るい選挙推進運動」も、ことさらに声を大きくせずともよいことだと思ふのです。

この推進運動によって、選挙意識の高まりが眼に見えて良くなる—というものはありませんが、昨日より今日、今日より明日へと、よりよい明るい選挙をめざして進めていかなければならないと思うこのごろです。

鷹巣町明るい選挙推進協議会

副会長・嶺脇シズエ

葛黒

「火祭りがまくら」見る会募集

- 日時 2月9日(金) 午後6時中央公民館前出発
- 定員 30人(定員次第々々切り)
- 参加料 1,000円
- 申し込み 鷹巣町観光協会 (☎62-1850まで)

「ありがとうございます」

歳末たすけあいに二百六十四万円余り

社会福祉協議会では、寝たきりのお年寄りや施設入所者など、恵まれない人たちに暖かい手を差し伸べようと昨年十二月に「歳末たすけあい運動」を実施したところ、町民のみなさんから心暖まる善意が寄せられ、募金総額は二百六十四万六千九百四十九円となりました。

みなさんの善意を有効に生



高山荘にも心あたたまる善意が贈られました。

かすため、配分委員会で協議した結果、それぞれ年末までに対象者にお届けしました。収支の内訳は次のとおりです。

【毎戸募金】▽鷹巣 九十四万九千二百四十二円（二、四八戸）▽七日市 十八万七千二百二十六円（四四八戸）▽沢口 二十九万四千四百四十一円（七四六戸）▽栄 十九万五千六十四円（四八六戸）▽綴子 五十三万三千三百六十三円（一、三六六戸）▽坊沢 十九万二千七百九十円（四八三戸）▽七座 十九万九千六百円（二八戸）

【個人・団体募金（敬称略）】佐々木芳蔵 一万三百十九円、佐藤恒治 一万円、成田富治郎（同）、島山美也子・将之 二千百六円、（株）同友三万、戸沢板金 二万四千円、竹美美容室 三千九百四十五円、南小児童会 七千七百円、竜森小児童会 六千七百

百八十九円、中央小児童会 二万四千円、南中生徒会 二万三千九百八円、七日市保育園 八百円、鷹巣保育園 五千円、全電通鷹巣分会婦人部会議 一万三千四百六円、匿名二人から各一万円

【配分内訳】低所得者世帯（一万円×一二一戸）、在宅寝たきり老人（三千五百円×一〇三人）、在宅重度障害者（三千五百円×四四人）（三千二百八十七円×八二人）、町出身特養施設入所者（二千円×七八人）、町出身施設入所者（二千円×一〇九人）、長期入院患者（二千円×一九人）、要保護児童（二千円×五十人）、同中学生（三千円×四一人）、重度障害児（三千円×一五人）、事務諸費 八万三千三百十三円

▼合計募金額 二百六十四万六千九百四十九円 配分額 二百七十五万五千三百四十七円 △十萬八千三百九十八円（社協一般会計より充当）

ゴミは正しく 出しましょう！

ゴミの量は年々増えていますが、ちょっと気を配れば量を減らすことができます。ゴミの減量にご協力ください。

- ◆燃やせるゴミ、燃やせないゴミは必ず区別して指定日の早朝に集積所に出してください。
- ◆他の町内（部落）の集積所にゴミを持ち出したり通りがかりの投げ捨ては絶対やめてください。
- ◆営業から出るゴミは自己処理をお願いします。（集積所には絶対出さないでください）

保健課衛生係

交通災害共済・ その他の災害共済

＝家族そろって加入しましょう＝

この2つの共済制度は県内8市60町村の住民が助け合い、不慮の災害にあった被災者を救済しようとするものです。

■共済期間 平成2年4月1日から平成3年3月31日まで

■掛金（年額） 交通災害共済掛金400円その他の共済掛金300円

（セット加入をおすすめします）

■申し込み 町民課福祉係

（☎62-1111内線126、127）

国民年金法が

改正になりました

年金額の引き上げ

かねてより審議されておりました国民年金改正法案が成立しました。

今回の改正は、国民の老後保障の充実と年金制度の長期的な安定を図るために行われ、改正内容は、年金額の改善や保険料の引き上げなど次のようになっています。



「年金はありがたいもんだ」「んだ、んだ」 <田中にて>

たので、引き上げられた新しい年金とその差額は、二月にまとめて支払われます。

年金の支払いは年六回になります

年金の支払月が二月、四月、六月、八月、十月、十二月の年六回に変更となります。（各期に支払われる年金額は、今まで三カ月分だったものが、平成二年四月からは二カ月分ずつになります）

また、四下期支払分から支払日は、各支払月の十五日（日曜日の場合は十六日、土曜日の場合は十七日）となります。

完全物価スライド制

年金額の物価スライドは、消費者物価指数が5%を超えて変動した場合に翌年四月からその率により、年金額を改定することになっていましたが、平成二年四月からは5%

未満でも前年の消費者物価指数の変動率に応じて、年金額を改定する完全物価スライド制になります。

四月から保険料 八千四百円に

保険料の額は、平成二年四月分から一カ月につき八千四百円とし、平成六年度まで毎年度四百円ずつ引き上げられます。

これは、年金制度を将来的に安定させ、必要とされる給付の水準が保たれるよう、毎年段階的に引き上げられるものです。

保険料は控除されます

毎年二月から三月十五日までは確定申告の期間です。

国民年金の保険料は「社会保険料控除」として全額が、その年所得額から差し引かれますので忘れずに申告してください。

控除される国民年金の保険料は、平成元年一月から十二月までに納めた保険料の総額です。

くわしいことについては、役場町民課年金係（☎六二一一一一内線一二四）へお問い合わせください。

年金比較一覧表

年金の種類		昭和63年度	平成元年4月
旧法国民年金	老齢年金（10年年金）	389,800円	406,600円
	老齢年金（5年年金）	331,800	344,400
	老齢年金（23年加入）	586,400	608,500
	障害年金（1級）	784,000	832,500
	障害年金（2級）	627,200	666,000
	母子・準母子年金（妻と子1人）	815,300	858,000
	遺児年金	627,200	666,000
新法国民年金	老齢基礎年金	627,200	666,000
	障害基礎年金（1級）	784,000	832,500
	障害基礎年金（2級）	627,200	666,000
	遺族基礎年金（妻と子1人）	815,300	858,000
	遺族基礎年金（子1人）	627,200	666,000
	子の加算（2人目まで）	188,100	192,000
	子の加算（3人目から）	62,700	64,000
老齢福祉年金		333,00	340,800

広報 たかのす
1年分を500円で
製本してみませんか
希望者は2月28日まで
広報秘書係に届けてください。

県北空港の名称を募集

日本中に、そして世界に通用する県北空港の名称を考えてください。
応募方法…ハガキ1枚につき1点（表に住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入）
応募締切…2月10日（土）
応募先、問合せ…秋田県北空港建設促進同盟
 〒016 能代市上町1番3号能代市役所内（☎0185-52-2111内線211）

おしらせ

内部障害者の方にも旅客運賃が割引

内部障害者に対する旅客鉄道株式会社等の、旅客運賃割引制度は、二月一日から実施されます。

割引率は従来より、肢体不自由者等に対して適用されている現行の割引率が、そのま

ま適用されることとなります。割引運賃によって乗車される場合には、身体障害者手帳を提示していただくこととなりますので、身体障害者手帳の書換手続を役場・町民課福祉係（☎六二一一一一内線一二六）で行ってください。

母子健康手帳交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

- ▽日程 二月五日・十九日
- ▽受付時間 午後零時三十分から一時（終了時間三時）
- ▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防
- ▽持参品 印鑑、歯ブラシ
- ▽場所 中央公民館保健相談室

献血にご協力してください

献血車が次の日程で巡回します。献血は気軽にできるボランティア、血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力をお願いします。

◆二月十三日（火）

- ▽鷹巣農林高校（午前十時三十分～零時四十分）
- ▽鷹巣高校（午後一時二十分～三時二十分）
- ▽鷹巣営林署（午後三時三十分～四時三十分）

桂高校演劇部が公演

- ▽演題 殖生の宿も
- ▽日時 二月十一日（一時三十分より）
- ▽場所 鷹巣阿仁広域交流センター
- ▽主催 青少年育成鷹巣町民会議。入場は無料です。

虫歯のない子



元町・高坂 仁大ちゃん



住吉町・成田 泉ちゃん



米代町・木村 友香ちゃん

夜間当番医（夜間診療）日程表

（午後6時30分～9時）

2月	曜日	医療機関名	電話番号
1	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
2	金	藤原医院	62-2882
3	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
4	日	盛岡医院	62-1101
5	月	鷹巣病院	62-1210
6	火	としま医院	62-1267
7	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
8	木	近藤医院	62-1263
9	金	北秋中央病院	62-1455
10	土	奈良医院	62-1146
11	日	藤原医院	62-2882
12	月	佐藤外科消化器科医院	62-1420
13	火	盛岡医院	62-1101
14	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
15	木	戸嶋産婦人科医院	62-1123

（急患以外は受けません）

町・県民税申告相談日程表

月日	申告会場	申告相談時間		受付時間
		午前9時～正午	午後1時～4時	
2/3 (土)	川口部落会館	川湯	口、小ヶ田	午前8時～ 午前11時
2/5 (月)	栄農協会議室	太田	田沢	午前8時～ 午後3時
	(役場会議室)	■譲渡所得の記載指導（税務署からの通知者）		
2/6 (火)	栄農協会議室	摩当	李岱、岩坂 下大沢	午前8時～ 午後3時
	(役場会議室)	■譲渡所得の記載指導（税務署からの通知者）		
2/7 (水)	栄農協会議室	掛泥	高野尻、 高野尻団地	午前8時～ 午後3時
2/8 (木)	七日市基幹 集落センター	本郷1～3組、 中畑	本郷4～6組	〃
2/9 (金)	〃	吉野、妹尾館 品類、根木屋敷	岩脇、横瀬	〃
2/10 (土)	葛黒林業 センター	大畑、葛黒		午前8時～ 午前11時
2/13 (火)	坊沢公民館	深関、上町	羽立	午前8時～ 午後3時
2/14 (水)	〃	相善町	新屋敷町、黒沢	〃
2/15 (木)	〃	大町	街道町	〃
2/16 (金)	糠沢会館	糠沢		〃

学び 楽しみ 深める

生涯学習発表交流会 2月4日



昨年度生涯学習発表会展示作品

づくりの推進を考える」

研究内容

▽体験発表、わたし（私たち）はこのようにして学習した。

生涯学習援助員、若妻学級生、婦人学級生、講座受講生、高鷹大学受講生

記念講演

講師〓秋田市教育委員、前秋田中央図書館明徳館館長・佐藤嘉子氏

演題〓図書館を通じた生涯学習を語る

学習発表

吉野祇園太鼓、大正琴、民謡舞踊、歌謡講座、社交ダンス、ヨーガなどの公開演技。

展示の部としては、自由詩

水墨画、藤手芸、陶芸、切り絵、木彫、和裁、パッチワーク、メルヘン人形、レザークラフト、高鷹大学作品、各種講座記録写真、野草講座写真。

以上の内容で、楽しみながら学ぶ貴重な一日になりそうです。

研修会終了後、交流会（懇親会千円会費）も予定されています。昼食代五百円、交流会会費については、当日受付でいただきます。

参加者は中央公民館（六六二―一三〇）へ申し込みください。

ふるさと人物伝

小坂彦三郎

一八二一―一八六五

旧栄村摩当の小坂家七代目、彦三郎は長い間肝煎役を勤め、在職中の日記や覚え書きをまとめ「永記録」という書を残している。それには天保四年（一八三三）の大飢饉のときのこの地方の様子が詳しく書いてある。

八月ごろからこの家でも根粥を食べたる根は葛根はもとより草木葉何でも食べたが日増しやせ衰え、体に腫がで歩き歩けない者も出た。犬猫死馬等を食う者もいた。あちこちの道路では死人が絶えず、親は子を捨

て、子は親を見放し、夫婦離別は何とも思わなかった。特に津軽は大凶作で毎日数百人が流れてきて行くあてもなく道をさまよっていた。こうした中で彼は土用前から天候があやしいので糶を蓄え、家族や別家の人々に与え難を逃れ得た。

天保四年九月摩当村は家九〇軒、六二七人であったが、一年後の八月には一七軒が廃屋となり人口も病死飢死が多く四七三人となる。「永記録」にはその後の凶作対策や村の状況、中央の動き等が書かれている。

彦三郎は文化八年に生れ幼名を幸吉といった。文政十三年、二十歳で肝煎見習天保三年、父三郎右エ門の死により肝煎本役となり、以来慶応元年の死去まで通算三十一年勤める。この間郷備米として粗三八〇石を貯蓄し、村内の未墾地の開発で年収四八石をあげた。

その功により死後、慶応二年、子友之助が苗字御免の御賞を受けた。資料（永記録、栄郷土誌、小坂信夫記文 長崎 久）



心の豊かさ、生活の豊かさを求めて、その年代にふさわしい学習を続けておられる方が年々増加しています。

は二月四日（日）鷹巣町中央公民館で左記の内容で開催されます。気軽にご参加くださるようご案内申し上げます。

主催

鷹巣町生涯学習推進本部、鷹巣町教育委員会、鷹巣町中央公民館、各地区公民館。

参加対象

子ども会世話人、青年、若妻、婦人、壮年、高齢者各団体、学級、講座生、小中高PTA、幼稚園保育園関係者、社会教育、学校教育関係者、一般町民

研究主題

「心豊かな人づくり、地域

農協、商工会など職場毎に研修をつづけている人。PTAや子ども会世話人、青少年育成会で学ぶ人など、教育の町にふさわしい生涯学習活動が展開され心強い昨今であります。

第七回生涯学習発表交流会

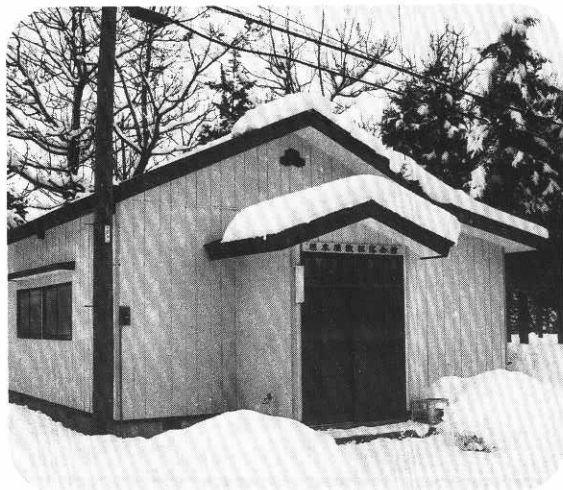


芸文協の受章を盛大に祝う

第21回県芸術文化章団体の部で受章となった町芸術文化協会の受章祝賀会が、1月20日に広域交流センターで行われ、加盟44団体から約300人が出席。昨年20周年を迎えた同協会の地道な活動が認められたもので、式典にさきがけ各団体からの「出し物」は引きもきらず。懸案の文化ホールの着工も決まり、会場は輝やいて見えました。

これまで集会施設がなかった根木屋敷に待望の「根木屋敷部落会館」が完成し、1月23日に竣工祝賀会が盛大に行われました。建築に向け部落民一丸となった運動が功を奏したもので木造平屋建56平方メートル、総工費3百16万4千円となっています。今後、集会や憩いの場など地域づくりの拠点となるだけに、大きな喜びにつつまれていました。

待望の部落会館完成



激戦にわいたクロカン大会

1月15日に第7回薬師山学童クロスカントリー大会が行われ、今シーズンを占う初の公式戦として、時おり吹雪模様のなか県北一円から29校500人の豆レーサーが参加し熱気あふれる大会となりました。昨年雪不足に泣いたスキー場も今年は支障がなく、コースのいたる所に陣取った父兄から「ガンバレー！」と大きな声援が飛んでいました。



第33回全県中学校スキー大会が1月21日・22日の両日、花輪スキー場で行われ鷹巢中女子がリレーで逆転優勝するなど、総合優勝八連覇の大偉業をなしとげ、男子も木村伸宏君（3年）が回転、大回転で2冠に輝き準優勝と大活躍。22日夕方役場前で行われた報告会では、真っ黒に雪焼けした選手たちも晴やかな表情でした。

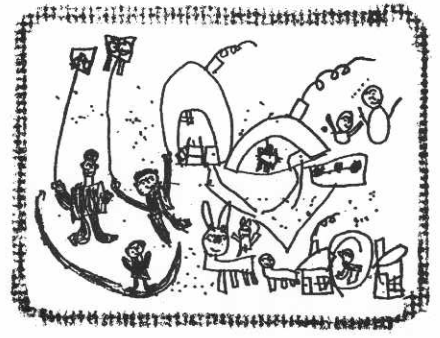
鷹中女子「八連覇の大偉業」



の広場



鷹巣保育園
ながき こうだいちゃん(六歳)



「県北に空港を」という熱い願いは、早期実現に向って、手順が着々と進められているようです。これまでの行政主導から民間へと移りました。即ち、今、町民一人ひとりが全力をあげてこの運動に参加することが求められています。

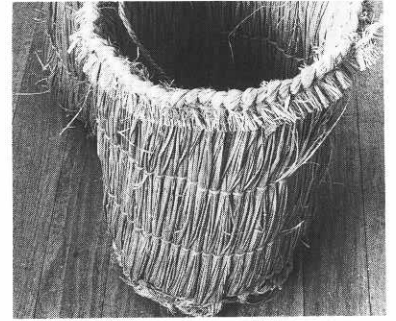


関 深高杉弘章さん(49歳)

全町民が情熱で挑戦

今月のテーマ 『県北空港に期待』

対談 わたしたちの意見



踏 俵(ふみだわら)

降った雪の長い道つけ

雪国の朝早くから道つけをした。舞う雪を冬帽子に受けながら、底にハナ緒があつて足を固定し、両手で紐を握り、手と足を同時に動かしながら、長い雪道を進んで行った。踏俵の形がきれいだった。

(松葉町・佐藤富雄さん)

空港実現までには、数多くのハードルをクリアしていかねばならないようですが、まず、一番大切なことは全町民の情熱とチャレンジする精神ではないかと思えます。空港の建設が決定すれば、企業誘致やリゾート構想も進み、町の地域活性化に図り知れない恩恵があるでしょう。しかし、どんな企業でもリゾートでも情熱のない町からはやがて遠ざかります。活力のある町づくりは、私達が自らの手で、拓くものであり、

わたしの自慢

「日本の絵本賞」で受賞

竜森小四年

堀部 智哉君



智哉君とふたりで「かまくらのごんごろう」の絵本を作りました。ごんごろうの行事を調べましたが、家の人もあまり分らなかった。智哉君と先生と三人でお話をつくりました。昔の人の服そうが分からないので、いろんな本を見かきました。読売新聞社しよになつたとき、とび上がるほど喜びました。去年、恵美子さんが東京へ行った時、うらやましくてたまりませんでした。

した。来年はきつとぼくも行ってみせると思いました。ごんごろうのおかげで東京へ行くことができてよかったです。<政志> 東京から手紙が来たときむねがドキドキしました。しよに入つたことが分かりうれしくてたまりませんでした。クラスのみんなも喜んでくれました。家の人もみんな喜んでくれました。ぼくたちの部落(葛黒)の「ごんごろう」がたたくさんの人に知られてよかつたと思えます。プリンスホテルは、そうぞうしたよりも大きくてごうかでした。祝賀パーティーもたたくさんの人でせいでいにおこなわれました。その後、東京タワーにのぼりました。ビルがたたくさん見えました。いい思い出になりました。<知哉>



鷹巣保育園
さとう ゆきこちゃん(六歳)

みんな



「町民になりました」
みなさんよろしく!



私たちはスキューバダイビングが縁で結ばれ、昨年12月に式をあげました。一司さんは無口。私はどちらかと言えば話好きですので丁度いいのでは。新婚旅行はまだですので、海のきれいな所に行きたいと思っています。子供はゼツタイ4人ほしいです!

津谷弘子さん(青森市からの転入です)
坊沢相善町



材木町
河田節子さん(48歳)

魅力ある町をめざして

その為の県北空港でなければならぬと思います。この試金石ともなるべく空港を、是非、全町民の情熱と挑戦で実行させたいものです。

空港ができることにより、企業を誘致し若い人の雇用が促進され、人口の減っている町も、減少に歯止めがかかることを期待しています。それと共に、農業県としては農業が盛んにならないと、

町の商店の発展もありません。それには、阿仁部も一体化して、農協で集荷所や作業所は大きな物を建て、高齢者も手伝いをして生きがいを持ってもらいます。作る人が多いと生産量も増え、都会の市場にまとめて出荷できますし、空港があると新鮮な花や野菜を、大量に迅速に輸送できます。それによって、農家の農業経営が安定し、町の活性化につながると思います。商店としては、大都市の情報吸収するための講演会や、演奏会等を多く企画し、魅力ある町になることを期待しております。

いずれにしても、空港の実現が第一ですので、がんばっていただきたいものです。

春のうららかな陽ざしがさし込む昭和30年代の緑ヶ丘地内である。家並みはすべてカヤぶき屋根で、ワラの冬囲いも見える。時代とともにカヤぶきは姿を消し、生活様式も考え方も大きく変わり、すべては記憶のなかとなりつつある。(写真提供 長崎久さん)

たかのすの昔

あしらせ



一線美術運営委員 九島寮二氏

二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十四日と二十八日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「心筋梗塞」について行います。

リハビリ学級は二十一日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査、七力月児健康相談と離乳食指導は二十七日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四力月児健診 十月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七力月児健康相談と離乳食指導 七月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

一歳六力月児健康診査は一日です。

対象は昭和六十三年六月、七月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時四十分から一時二十分までです。

母子健康手帳、問診票、バスタオルをお持ちください。場所は中央公民館ホール。

フッ素イオンむし歯予防は一日です。

対象は満三歳児以上のお子さんです。時間は午後一時三十分から三時までです。

赤ちゃんの入浴指導は十九日です。

入浴実習、家族計画、赤ちゃんの扱い方と衣類について時間は午前十時から十一時三十分までです。

場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

生き生き健康教室の講演会

町では冬期成人病予防教室「生き生き健康教室」を五回コースで開催しております。

次の日程ですので、多数ご参加ください。

▽二月十五日 健康劇「五三郎じいさんの応援歌」グループ討議「自分でできる健康づくり」

**元年度町税の納期限は過ぎております
未納の方はお早目に納付を！**

くりとこれからの生活設計」役場保健課

▽二月二十三日 講演会「食品公害から健康を守れ」、県生活センター

時間はいずれも午後一時から三時まで、場所は中央公民館ホールです。

消費税確定申告書の提出は四月二日まで

個人事業者の方の消費税の確定申告と納付は四月二日までです。

手続き等については、大館税務署（☎〇一八六一四二一〇六七一）にお問い合わせください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽羽立 小林進さんから亡父 専次郎さんの香典返し
▽花園町 小坂敬二さんから亡父 留吉さんの香典返し

▽大野尻 成田正さんから亡父 豊吉さんの香典返し
▽蟹沢 桜庭徳蔵さんから亡妻 ミエさんの香典返し
▽大町 小野博さんから亡父 耕治さんの香典返し

慶弔だより

1月1日～15日

—敬称略—

■誕生おめでとーごさいます

木村 亮太(雅之 長男)おけはの町
山本ひとみ(政俊 二女)宮前町
長岐 友博(孝司 長男)小森
加賀谷 咲(秋彦 長女)新田中
小松 悠秀(秀悦 二男)下町

■二人の前途を祝福いたします

津谷 一司 相善
八木澤 弘子 青森県
田村 幸久 舟場
柴田 富美子 森吉町
高坂 洋一 羽立
佐藤 一美 深沢

おくやみ申しあげます

三澤修之助(83歳) 田中
羽賀 ユキ(87歳) 下町
籠谷 勝夫(64歳) 伊勢町
薄井佐吉郎(67歳) 藤株
畠山 武(62歳) 大畑